

セルビアへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2023年3月9日（継続）

コソボ東部との国境周辺地域 (メドベジャ市、ブヤノバツ市、プレシエボ市)	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続） その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため 特別な注意が必要です。
---	--

【ポイント】

- コソボ東部との国境周辺地域では、一部のアルバニア系住民とセルビア系住民との間で緊張が続いています。同地域においては、現在のところ治安は概ね安定していますが、セルビアとコソボの二国間関係は依然として緊張状態にありますので、引き続き注意が必要です。
- 2015年以降、中東から多くの難民が流入しており、引き続き多くの難民がセルビアに滞留しています。難民の滞在長期化に伴う治安の悪化が懸念されるため、十分注意してください。

【概況】

- (1) コソボ東部との国境周辺地域では、人口の多くをアルバニア系住民が占めており、一部のアルバニア系住民とセルビア系住民間の緊張が続いています。同地域においては、現在のところ治安は概ね安定していますが、2018年12月にコソボが軍を設立し、2021年以降も両国間の対話については、具体的な進展がみられないなど、セルビアとコソボの二国間関係は依然として緊張状態が続いていますので、引き続き注意が必要です。
- (2) 2015年以降、セルビアに中東からの難民が大量に流入し、今なおEU諸国に入国できない多くの難民が、セルビアの難民センターやベオグラード市内に滞留しています。難民の滞在長期化に伴う治安の悪化が懸念されるため、十分注意してください。
- (3) これまでに、セルビアにおいてテロによる日本人の被害は確認されていませんが、テロによる日本人の被害は、シリアやアフガニスタンといった渡航中止勧告や退避勧告が発出されている国・地域に限りません。テロは、日本人が数多く渡航する欧米やアジアをはじめとする世界中で発生しており、これまでもチュニジア、ベルギー、バングラデシュ、スリランカ等においてテロによる日本人の被害が確認されています。また、単独犯によるローンウルフ型テロや、一般市民が多く集まるレストラン、ショッピングモール、公共交通機関等のソフトターゲットを標的としたテロが世界各地で頻発しており、こうしたテロの発生を未然に防ぐことは困難です。テロはどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを十分に認識し、テロ・誘拐に巻き込まれることがないように、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。詳細は「テロ・誘拐情勢」もあわせてご確認ください。
(https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_175.html)

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、
外務省領事サービスセンター 電話：(外務省代表) 03-3580-3311（内線）2902, 2903
外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：(代表) 03-3580-3311（内線）2306
外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：(代表) 03-3580-3311（内線）3047
までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として〔レベル1〕「十分注意して下さい」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。